

2月定例会の概要

会期 2月13日から3月6日までの22日間

質問議員
17人

2月20日(水)

坂本 登
中本 浩精

2月21日(木)

花田 健吉
多田 純一
奥村 規子
菅原 博之

2月22日(金)

立谷 誠一
浦口 高典
川畑 哲哉

2月25日(月)

玉木 久登
藤本 眞利子
雑賀 光夫
濱口 太史

2月26日(火)

山本 茂博
谷口 和樹
中西 峰雄
前芝 雅嗣

会期中の主な動き

特別委員会の開催

- 行政改革・基本計画等に関する特別委員会 …… 2月26日
- 予算特別委員会 …… 2月27日

議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件 (知事提出)	33件	平成31年度和歌山県一般会計予算等	可決
条例案件 (知事提出)	50件	知事及び副知事の給与その他の給付条例の一部を改正する条例 等	可決
人事案件 (//)	1件	和歌山県教育委員会の教育長の任命につき同意を求めるについて	同意
その他案件 (議員提出)	1件	和歌山県議会会議規則の一部を改正する規則	可決
その他案件 (知事提出)	21件	平成31年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	可決
請願	1件	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書	不採択
意見書・決議	6件	賀詞 食品ロス削減に向けてのさらなる取組を求める意見書 妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書 農林水産物・食品の輸出力強化を求める意見書 UR賃貸住宅ストックの活用を求める意見書 幼児教育・保育の無償化の安定した運用を求める意見書	可決

天皇陛下の御即位30年に 慶祝の意を表し、賀詞の奉呈を決議

賀詞

天皇陛下におかせられましたは御即位三十年をお迎えになられましたことは和歌山県民ひとしく慶賀にたえないところでありますここに和歌山県議会は和歌山県民を代表して天皇皇后両陛下の益々の御健勝と皇室の弥栄をお祈りするとともに謹んでお祝いを申し上げます

平成三十一年三月六日 和歌山県議会

水産物の高付加価値化

問 生産者や県内の各種研究機関等が連携し、水産物由来の機能性に着目した高付加価値化を行ってはどうか。

答 様々な機能性成分を有する水産物や水産加工品の付加価値を高める取組は、重要であると認識しています。専門的知見を持つ県立医科大学などと連携し、また、県の試験研究機関の設備や機能を活用して、本県で水揚げが多い魚類や海藻類に含まれる機能性成分の研究を行うとともに、未利用資源の活用についても取り組んでいきます。

本県教育の方向性

問 第3期和歌山県教育振興基本計画が平成30年度スタートしたが、本県教育が進むべき方向性はどうか。

答 教育振興基本計画を着実に実現し、特に学校教育では、「知・徳・体」を基盤とした人間としての総合力の育成をめざしています。全ての人の「和」の力が結集したとき、本県の教育はよりよいものになると確信を持って取り組んでいます。

内水面漁業振興計画の策定

問 国は、平成26年に内水面漁業振興法を制定した。

県では法の規定する計画が策定されていないが今後どうするのか。

答 法律では、都道府県は内水面漁業振興計画の策定に努めることになっており、既に14県で策定されています。本県においても今後速やかな計画の策定に向け、取り組んでいきます。



「内水面漁業」…河川・湖沼における漁業、養殖業

児童虐待問題

問 児童相談所への児童福祉司などの人員配置や、県内市町村との連携は、どうなっているのか。

答 平成26年度から30年度までの5年間で、家庭支援などで中核的役割を果たす児童福祉司4名を含む、相談員業務担当職員7名と常勤弁護士1名の計8名の増員を行いました。また、市町村職員に対しては、虐待の兆候を決定して見逃さず、早期発見に確実につなぐことのできるノウハウや児童相談業務に必要な支援会議の運営方法等を学ぶための研修を行い、知識・技術の向上や均質化に努めています。

性同一性障害

問 性同一性障害の児童生徒に対してどのような配慮や対策が行われているのか。

答 平成27年に文部科学省から「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」の通知が出されています。県教育委員会では、県内全ての学校に対し、その趣旨を周知するとともに、児童生徒の心情等に配慮しながら個々の状況に応じて対応するよう指導しました。各学校においては、児童生徒や保護者と相談しながら、制服やトイレ、更衣室の利用等、学校生活の各場面でそれぞれの児童生徒に応じた配慮を行っています。